

AI を賢く使う英文ライティング プロンプトとポストエディットの極意

はじめに AI 時代の英語学習

ChatGPTなどの生成AIは、英語のネイティブチェックをしてくれる。文法・語法の質問にも答えてくれる。人口音声を使って、英会話の練習もできるようにしてくれる。瞬時に言いたいことを、適切な英語に生成してくれる。

ChatGPTをはじめとする生成AIツールの登場で、英語教育業界に激震が走りました。AIに関するワクワクするニュースが飛び交う一方で、「AIに仕事を奪われるのではないか」と不安に陥る人も少なからずいるようです。

リアル、オンラインを問わず、英語学校はもういらぬのか？ 英語学習そのものが不要になるのか？ 英語教師や翻訳者や通訳者は職を失うのか？

そんな疑問が世間にあふれ、弊社ネットストリートおよび英語便のサービスにも、不安を感じる大学教授や英語塾経営者から問い合わせをよくいただいております（「英語便のネイティブ添削ビジネスは大丈夫でしょうか？」というご心配の声もいただいております）。

英語便サービスの運営会社、株式会社ネットストリートは、基本的にIT企業ですのでAI関連の情報は常に追っているものの、1年前までは「生成AIの英文の質はどうか？」「AI添削はネイティブ添削よりすぐれているのか？」「AIには人間の気持ちは理解できないのでは？」といった質問に十分に答えることができませんでした。そこで「AIとAIの能力を見極めて、皆さまの質問に答えられるようにしよう」と思い立ち、ChatGPTの英文検証プロジェクトを立ち上げました（生成AIにはChatGPTのほか、GeminiやClaudeなど多数ありますが、その時点でもっともユーザー数が多いであろうと思われるChatGPTを選択しました）。

当プロジェクトでは、ChatGPTが生成するビジネス文書、翻訳文、要約、試験問題の解答などを英語便の講師がネイティブスピーカーの視点で詳細に

検証しました。また、英語便のコースにおいてAIを使ったライティング支援ツールを提供し、実際にユーザーの皆さまにご体験していただきました。この検証を通じて、講師陣からも興味深い意見や指摘が寄せられました。そんなある日、研究社の編集者、金子靖さんとAIについて話す機会があり、この検証プロジェクトを書籍化のご提案をいただきました。

本書『AIを賢く使う英文ライティング プロンプトとポストエディットの極意』は、生成AIが英文作成力を読者にリアルに体験していただけるように配慮しました。本書を通して「生成AIの英文の質はどうか?」「AI添削はネイティブ添削よりすぐれているのか?」「AIには人間の気持ちが理解できるのか?」という皆さまのご質問に対してお答えできていましたら幸いです。

AIを受け入れることにご心配されている英語業界の方々には、本書を通じて生成AIの英文生成傾向を冷静にご理解いただき、不安を払拭され、今後の英語の学習や英語指導、英語を使った仕事において、AIと共存し、AIを十分に使いこなすことを前向きに受け止めていただけますことを願っております。

AI検証プロジェクトを立ち上げた当初、英語便の講師たちからも実はAI導入に対する反発がありました。「AIを使うと、利用者の英語学習に対するモチベーションが下がるし、英語を書くための思考力が養われることがなくなる」「英文ライティングの美しさや個性が失われる」といった懸念のほか、ネイティブ添削のサービス利用の必要性が低下するかもしれないという心配も寄せられました。ですが、講師陣には「まずは知ることが重要」と説明し、調査に協力してもらいました。AIが生成する英文の精度に驚きや不安を感じていた講師たちも、情報を共有し、AIの能力と傾向を深く知ることによって「面白い」と感じたり、AIの効果的な活用の可能性がイメージできたりするようになりました。

AIとの共存は避けられません。英語学習者や教師の皆さまには、AIを恐れることも、逆に過信することもなく、必要があれば受け入れ、賢く使いこなしていただきたいと願っています。

現在、英語便(www.eigobin.com)のスタンダードコースでは、英文ニュースの時事用語解説のほか、自分の意見を述べるためのヒント、資格試験エッセイを書く上での具体的なアイデアなどをAI活用によって生成しています。どれも英文ライティング練習の助けになりますので、機会がありましたら、英語便のサイトよりお申し込みいただける無料トライアルで、その一部をご体感ください。

読者の皆さまには、本書を英文ライティングや仕事の効率化、教材のアイデア創出、そして各方面の英語学習にお役立ていただければ幸いです。

本書の調査と執筆に協力してくれた英語便の講師やスタッフ一同に、この場をお借りして感謝いたします。そして本書の企画立案から、題材選択、執筆、編集にいたるまで、随時強力にサポートしてくれた研究社の金子さんに心よりお礼申し上げます。

2024年12月25日

英語便運営会社 株式会社ネットストリート代表
森岡美香

1 ChatGPT とは？

2024年12月現在、ChatGPTは高度な自然言語処理能力を持つAIツールで、ユーザーからのテキスト入力に対し、質問に答えたり、適正な文書を作成したり、各種アドバイスを与えてくれたりします。**英文ライティングにおいては、文法や語彙の正確性を高める校正を行い、場面に応じてアイデアを提供し、文書構造を改善するなど、幅広く活用されています。**

2 GPT を使った英文ライティング

ChatGPTを使うと、日本語の意味に応じた英文の執筆や要約、Eメールやスピーチ原稿の作成、翻訳、校正など、あらゆる作業が可能となります。ただし**GPTには苦手な分野があるため、1回で完全な文書を作成することはなかなかむずかしい**と考えていただく必要があります。

このため、GPTはあくまで優秀なアシスタントであり、下書きを作ってもらったら、丸投げではなく、最終的には自分で仕上げなければなりません。重要な部分は人間である自分が書くという考え方で臨むべきです。

3 GPT が得意なもの・苦手なもの

1 GPT が得意なもの

GPTはビジネス定型文書の作成、資格試験などのライティング、単文生成やビジネス翻訳全般など、一般的に**定型文が存在するような文書に対しては完成度の高い文書を生成することができます**。また、下書きとして、条件に応じたEメール、エッセイ、ポエム（詩）、記事、小説などの生成に活用することも可能です。文書は一瞬で生成されるため「考えて文書を作成する」時間がかなり節約できることとなります。

2 GPT が苦手なもの

A. 最新情報の取り扱い

ChatGPTは**最新の情報を常に取り込めない**こともあり、トレンドワードや、ここ数年登場した科学技術用語やビジネスワード、新しく登場したハイフワードなどを正しく扱えないことがよくあります。最新ニュースの引用も苦手です。

* 2024年7月25日にOpenAIがサーチGPT（SearchGPT）を発表しました。

2024年11月1日時点では、ChatGPTの有料プランであるPlusおよびTeamプランのユーザーのみが利用可能なサービスで、AIモデルとインターネット上の最新情報を組み合わせて、ユーザーにより高精度な回答を提供することを目標としています。当サービスは本書執筆時点ではプロトタイプであり、リンク切れのニュースサイトが参照されるなど、まだ改善の余地がある状況です。

B. 専門知識

ChatGPTの回答は既存のデータを元に生成されるため、データが希少な専門的な内容や、少数の人が実験を進めていることに関しては、誤った内容、あるいは極端にバイアスがかかった内容が出力されることがあります。

C. 創造性の限界

上記の専門知識と同様に、ChatGPTの回答は既存のデータを元に生成されるため、これまでにない創造的なアイデアを出したり、非常に興味深い物語を書いたりといったクリエイティブな文書作成には向いていません。生成された文書は、オリジナリティのあるものではなく、「どこかで見たような」内容になります。

D. 人間的コミュニケーション

文書作成も一種のコミュニケーションであり、相手（読み手）の気持ちを考慮したうえで文書作成することが重要です。GPTはビジネスの定型文書や資格試験のライティングの作成は得意ですが、読み手の立場や気持ちを配慮した文書の作成は苦手です。たとえば友人やお世話になった人へのEメールなどをGPTに作成させると、内容は通じて「心を届ける」のはむずかしいことがよくあります。

そしてII章の10「文学の翻訳」にも記しますが、人間の複雑な心の描写や読者の想像を喚起する風景描写を含む文学の翻訳も苦手です。

4 GPTの活用方法

上記で説明したとおり、ChatGPTを使いこなして文書作成を行うにあたり、**得意不得意分野を十分理解しておく**必要があります。GPTで生成された文書は一見パーフェクトに見えるのですが、単文生成や定型文書の生成を除いて、一発で完全な文書が生成されることはまずありません。活用にあたり、以下のようなステップを踏む必要があります。

1 プロンプトを考える

GPTに作業をお願いするときには、「〇〇をしてください」と指令を入力する必要があります。この指令は「プロンプト」と呼ばれています。意図する結果が得られなかったときは、プロンプトを調整して再度生成を試みます。

以下は、英文メールを生成するプロンプト例です。

Prompt >>

以下の条件に合う英文Eメールを生成してください。
「海外に住む友人から誕生日プレゼントが送られてきました。もともとほしかったプレゼントでうれしかったと伝えたい」

2 プロンプトを使って文書生成

3 結果レビュー

生成された内容に誤りや違和感がないかどうかチェックします。

4 手直し

自分で手直しできる内容であれば、直して完成です。またはプロンプトでGPTに修正依頼することも可能です。

Prompt >>

全体的にもう少しカジュアルな文書にしてもらえますか？
もう少し感情を抑えた英文へ変更してもらえますか？

*これ以降、目的の文書が生成されるまで、レビュー&手直しを繰り返します。

*慣れてくると、使い慣れたプロンプトを使って下書きを作成、あとはポイントに気をつけながら修正するという手順で効率的に文書作成が行えるようになります。

プロンプトを入力して生成された文書の手直し、および注意点について、本書では以下のような手順で解説しています。

i Prompt (プロンプト)

「海外に住む友人から誕生日プレゼントが送られてきました。うれしい気持ちとお礼を伝えるメールと伝えるメールを書いてください」

ii Quick Fix (ドラフトの手直し)

AIが生成した文書は用途に応じてそのまま使えることも多くあります。ただし、AIならではの歪みが発生することがありますので、簡単に手直しを

入れて最低限使える文書へ手直しをします。Quick Fix では、生成された文書のどの部分を主にどういった点に注目して直せばよいかをポイント説明しています。

iii Brush Up (ネイティブ スピーカー視点の文書洗練)

Quick Fix で訂正後、さらに以下のような問題点をネイティブ スピーカー視点で添削するとどう変わるかを説明しています。

- 洗練された文書スタイルへの修正
- 読みやすい語順、説明順序への変更
- 場面での最適な単語（名詞、形容詞など）を使う
- 誤解を招く可能性がある記述をわかりやすくする
- 最適な文書トーンを使う

Quick Fix 適用後の文書は、問題なく読めるものになり、そのまま SNS へポストしたり、送信したりできます。Brush Up 適用後の文書は、より洗練された文書になります。教材や出版物での利用、また公式に使われる文書のレベルになります。また、SNS 投稿やメッセージも、より印象的で心のこもった文書になります。

英文を書きなれていない方は、まずはプロンプト作成から Quick Fix までを参考に GPT を活用してみてください。英文を書きなれている方は、Brush Up まで通して読んでいただき、GPT 生成文書をどのような視点から直していけばよいかを学んでいただければと思います。

以下、様々な文書の生成例と手直しを順にご紹介していきます。



ChatGPTを使った文書作成

下書き生成から手直しまで

2 ビジネス文書

「ビジネス文書」にはEメール、領収書、プレスリリースなどがあります。適切なプロンプトを与えることで、GPTはフォーマットや内容を一瞬で生成します。詳細な手直し手順は文書によって異なりますが、本章では一般的な生成例を使って解説します。

*ビジネス文書生成におけるGPTの強みとして、「ローカライズ」が挙げられます。例えばアメリカとイギリスでは、使う単語、日付フォーマットや平均的な文書の書式が異なりますが、たとえばプロンプトに「イギリスの顧客に向けた」といった情報を加えておくことで、その地域での平均的な文書が生成できます。

*日本語の書類を英訳する事例は、II章の7「ビジネス翻訳」の章を参照してください。

以下に、日本の企業がホームページやSNSに掲載する店舗休業のご案内を英文で生成する例を挙げます。

Prompt 1 >>

以下の内容に応じた英文のご案内を作成してください。

文書：人形町店舗改装工事に伴う店舗休業のお知らせ

内容：店舗リニューアル工事のため2024年7月1日～2024年10月15日の間、人形町店を一時休業します。2024年10月

16日からは通常通り営業します。休業中は弊社オンラインショップ (<https://www.abd/abc>) をご利用ください。

■ GPT 出力 1

Temporary Closure of Ningyocho Store Due to Renovation

We are excited to announce that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better! Due to this, the store will be temporarily closed from July 1, 2024, to October 15, 2024. We will resume normal operations on October 16, 2024.

During the closure, we invite you to visit our online shop at <https://www.abd/abc> for all your needs. We apologize for any inconvenience and thank you for your understanding and support.

Quick Fix ■ ドラフトの手直し

ビジネス文書の手直しはビジネスEメールと同じ考え方で対応します。以下の2点に注意してチェックを行います。

- (1) 文書のタイトル修正（プロンプトから組み立てたタイトルは不自然なものが多い）
- (2) 文書トーンやフォーマットの修正

1 文書のタイトル修正

ビジネスメール同様、AIはタイトルをプロンプトから組み立てるので、言葉足らず、また、不必要な情報が含まれていることが多くあります。**必ず見直しを行いましょう。**

今回のタイトルでも意味は十分に通じます。しかし、「改装による人形町店の一時閉店」というタイトルは、会社からのご案内としてお客さんにお知らせするのであれば、やや失礼な感じがします。よって、日本語では「改装による人形町店の一時閉店のご案内」の意味にするために announcement of を足します。

修正例

Announcement of Temporary Closure of Ningyocho Store Due to Renovation

2 文書トーンやフォーマットの修正

日付のフォーマットを修正します。SNS などのお知らせでは July 1, 2024 のような簡易表記でも問題ないのですが、企業から顧客へのご案内、また休業期間が重要情報であることから日付のフォーマットを整えます。

修正例

Due to this, the store will be temporarily closed from July 1st, 2024, to October 15th, 2024. We will resume normal operations on October 16th, 2024.

■ Quick Fix 適用文書

Announcement of Temporary Closure of Ningyocho Store Due to Renovation

We are excited to announce that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better! Due to this, the store will be temporarily closed from July 1st, 2024, to October 15th, 2024. We will resume normal operations on October 16th, 2024.

During the closure, we invite you to visit our online shop at <https://www.abd/abc> for all your needs. We apologize for any inconvenience and thank you for your understanding and support.

Brush Up ■ ネイティブ視点の文書洗練

Quick Fix で完成した文書は、ていねいなトーンで読み手に十分に内容が通じるものです。以下、文書トーンやスタイルを修正し、より読みやすくプロフェッショナルに仕上げる例を示します。

1 タイトルのフォーマット修正

Quick Fix で修正したタイトルは少々冗長です。スタイル向上のため、以下のように変更します。また、改装のご案内という時には renovations と複数形を使うのが一般的です。

修正例

Announcement of Temporary Closure of Ningyocho Store Due to Renovation For Renovations : Ningyocho Store

2 不自然な文書トーンの修正

今回のご案内は、「改装による店舗の一時休業のご案内」です。しかし、文頭の We are excited to announce that ～ は、普通は会社が新製品発表やお客様へのセール告知に使う表現です。読み手は「改装によりきれいになる」という想像を働かせるのでまったく許容できないというわけではないのですが、休業の告知をすることを excite しているという表現には若干の違和感があります。

以下のように GPT に確認してみます。

Prompt 2>>

We are excited to announce that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better! の We are excited to announce that 部分を「単なるお知らせの意味」へ変更できますか？

■ GPT 出力 2

Please be informed that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better!

適切な文書が提示されました。トーンの修正に伴い末尾の！も外します。

修正例

We are excited to announce Please be informed that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better!

3 よりていねいな言い回しを使う

3-1 2番目のセンテンス Due to this 「これにより」でも意味は通じますが、ややぶっきらぼうとイイますか、読み手を近づけない印象があります。以下のように修正して、「この改装により」とよりていねいな言い回しに変更します。

* due to this situation (この状況により) および、due to this construction (この工事により) という表現にも置換可能です。

修正例 Due to this renovation

3-2 休業期間 from July 1st, 2024, to October 15th, という記載に特に問題はないのですが、through を使うと連続休業することがより明確になります。

修正例 from July 1st, 2024, to through October 15th

3-3 We will resume normal operations (通常営業に戻ります) は、以下のように変更すると店舗が通常営業する(再開する)ことが明確になります。

修正例 resume normal store operations

3-4 最後の We apologize for any inconvenience and thank you for your understanding and support. も基本的には問題ありません。定型表現 this may cause を足し、「何かご不便をおかけするかもしれませんこと、お詫び申し上げます」という意味のよりていねいな表現を使います。

また、末尾の感謝の気持ちは単文として独立させることで明確に伝わります。

We apologize for any inconvenience this may cause. Thank thank you for your understanding and support.

と表現することもできます。

■ Brush Up 適用文書

Announcement of Temporary Closure For Renovations : Ningyocho Store

Please be informed that our Ningyocho store will be undergoing renovation to serve you better.

Due to this renovation, the store will be temporarily closed from July 1st, 2024, through October 15th, 2024. We will resume normal store operations on October 16th, 2024.

During the closure, we invite you to visit our online shop at <https://www.abd/abc> for all your needs. We apologize for any inconvenience this may cause. Thank you for your understanding and support.